

寄り添い つながる 広報誌

福祉 わかやま

2023
4月号
vol.427

この広報誌の発行に一部共同
募金配当金を利用しています。



今月の表紙

県社協 春季1DAY
インターンシップ
の様子
(P4に関連記事)



特集
P2-4

新たな時代に求められる ふくしの広報・人材確保戦略とは

県社協の情報など
SNSで発信中



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

新たな時代に求められる

ふくししの広報・人材確保戦略とは

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」、「働き方改革と働く人のニーズの多様化」「新型コロナウイルス感染症への対応」等に伴い、福祉分野における「人材確保」と「働きやすい環境の整備」は喫緊の課題となっています。今号では、「社会福祉法人広報力・人材確保セミナー」（県社会福祉法人経営者協議会・県社協共催）で「報告いただいた社会福祉法人紀三福社会の実践を参考に、将来を見据えた広報・人材確保のあり方について考えます。」

福祉の世界を 変えていこう！

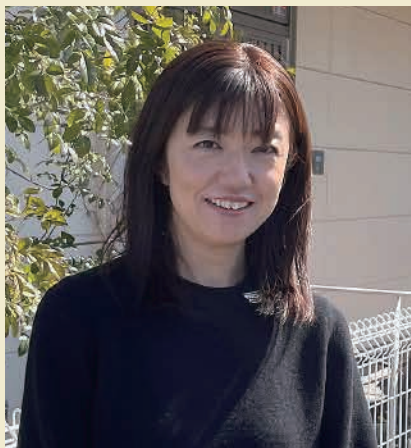
～ワクワクする仕事があります～

社会福祉法人 きざん ふくしかい 紀三福社会の取組



法人本部は和歌山市紀三井寺。特別養護老人ホームを中心とした高齢者福祉事業と、障害者就労移行支援事業等を実施。

事業所内には企業主導型保育所を整備して働く職員を応援。従業員数約230名。



お話を聞かせていただいた
あきさきまさこ
明奇真子事務長

福祉はステキなしごと！ 私たちの挑戦

慢性的な人出不足（人材確保と定着）は本当に大きな課題です。コロナ禍当初は他業種からの転職もあり、「手堅い業界」ということで新卒の応募者もいましたが、他業界が少しずつ採用を再開し始めると、最近はまだ応募者が少なくなっていると感じます。私なりにその理由を考えましたが、①本県は他府県より少子高齢化が早く、働く人（労働力）が減っていること、②介護・福祉に対する仕事のイメージがまだまだよくないこと、③少子化で他業界との採用競争が激化していること、④給与水準が一般企業より低いこと等があげられます。

このまま何もしないわけにもいかず、福祉は素敵な仕事だよ」ということを伝えたくて、数年前から「採用の強化」と、「人材の定着」に力を注いできました。

大卒者への求人強化

新卒採用は高校生や専門学校生が中心でしたが、大学進学率が上がっている現状を踏まえ、大卒者への求人強化。インターンシップや説明会等で学生と対話する機会を増やすうちに、大卒者にも「地元へ戻って就職したい」という方が一定数いることがわかってきました。

中途採用は経験者だけでなく未経験者にも積極的に門戸を広げ、採用後の職員育成（研修体系の整備や資格取得支援）にも力を入れることにしました。

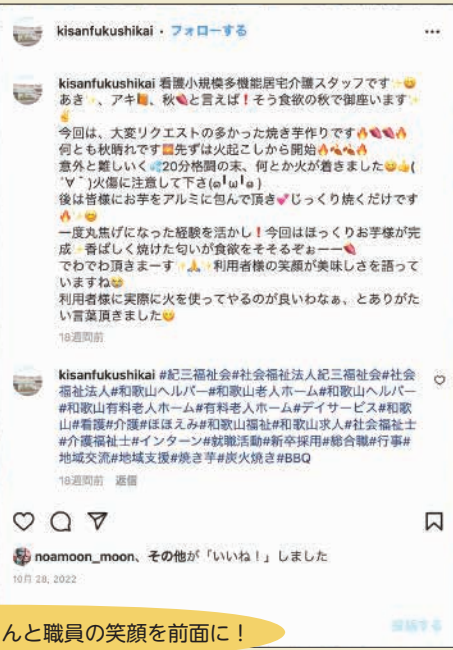
職員育成について

- ① 年次別研修：社会人1年目から5年目まで階層別の研修。キャリアデザインを意識。
- ② ヒューマンスキル研修：社会人としての基礎力、コミュニケーション力・チームワーク等を身につける。
- ③ 専門スキル研修：介護技術勉強会や認知症研修、介護福祉士の受験対策等、実践に活用できる知識を学ぶ。
- ④ 紀三福社会アカデミー：オンライン学習システムを活用。いつでもどこでも効率的に学ぶ機会を用意。
- ⑤ メンター制度：新人1名に対し先輩職員が1名つくメンター制度を導入。

とにかく、共通して言えるのは「福祉・介護の魅力を伝えることが重要!!」ということです。



インスタグラムには利用者さんと職員の笑顔を前面に！



介護の魅力を伝えるための「3つの戦略」

- 1 SNSを利用して、介護の魅力をアピール
- 2 ※ナビサイトの活用
- 3 ホームページの改修

※ナビサイト：企業の求人情報が掲載されたオンライン上のプラットフォーム

「見える化」 SNSを活用して事業を

まずはFacebookから始め、若者ユーザーの多いInstagramにも着手。当初は私とデイサービス担当職員の2人で、イベントを投稿するのみでした。全職員に「SNSをやってみよう」とはたらかせました。ところが、「通常業務があるのに誰が投稿するの？」利用者同意は？と否定的な声が多く、なかなか前に進みませんでした。

そんなある日。ひとりの事業所長が「これは新設事業所の外部PRにつながるのでは？」と賛同してくれ、若い職員を巻き込み、活発に投稿を始めてくれたのです。その投稿を利用者のご家族が楽しみに見て

くれるようになり、コメントまでいただき、さらに職員のモチベーションがアップ！他の部署にも波及し、徐々に各事業所が自主的に更新してくれるようになりました。

目的別にSNSを使い分け

インターシップに来た学生から「情報収集にはTwitterをよく利用する」という提案を受け、Twitterのアカウントも取得。職員採用情報等の「お知らせ」はTwitterが中心です。他にも、職員からYouTubeの訴求性について提案され、施設紹介やサービスの様子等、日頃の何気ない風景を動画で配信。動画ネタを探すのは大変ですが、再生回数や登録者数を伸ばそうと、若い職員が中心になって頑張っています。



職員からの声で、地域の一人暮らしの方を定期的に訪問する地域貢献事業「紀三戦隊まもるんジャー」が誕生！これもYouTube動画で配信。



職員が作成した紀三戦隊のオリジナルキャラクター。このビブスを着用した職員が月1回、地域の独居高齢者宅等を見守り訪問。地域で起こっている課題は「自分ごと」として捉えるようにしている。

SNSで法人内が活気づいてきた！

投稿する部署に偏りがある、同業者（福祉分野）以外のフォロワーをどう増やすか、4種類のSNS同時運用が大変等、たくさん課題はあります。それでも、SNSを活用し始めてから、なんとなく法人内が活気づいてきたようになります。そういった提案が出てきたり、職員自らSNS勉強会を開いて「映える」工夫や運用方法を考えたり。外部への発信（見える化）を考えると、サービスを見直すきっかけになり、他部署を知る「部署間連携」にもつながる。今までにない好循環が生まれています。

ナビサイトの活用と ホームページの改修で 「伝わる」を意識

現在、学生に向けた求人情報の解禁日は3月1日(卒業・修了年度に入る直前)です。例えば大学生は3回生の夏頃から企業のインターンシップ等に参加し、4回生になる直前の3月時点で自分の興味のある「分野」や「受験先」を決めています。感覚では「3月では遅い」という印象さえあります。

一定のコストがかかるため検討は必要ですが、学生と「つながる機会を増や



紀三福社のホームページより

す」という意味ではナビサイトの活用も一案です。

紀三福社では令和4年9月にホームページを改修し、同12月には採用専用サイトもオープンしました。選ばれる法人になるためには「伝える」だけでなく、「伝わる」を意識した発信が大事だと感じています。

ともに、福祉の世界を 変えていきませんか？

とは言っても、これで人材不足が解消したわけではなく、その課題はずっと続きます。SNSやホームページはひとつのツールであり、「楽しいよ、明るい職場だよ」ということを見せることがゴールではありません。就職後も職員が定着してくれる「仕組みづくり」を、これからも法人全体で考えていきたいと思っています。

今後はさらに少子化・労働力不足が深刻になります。その中で他業界に負けず、良い人材を獲得することが必要です。福祉業界のイメージを変えていくのは私たちの法人だけではできません。この業界を明るく、持続可能なものにするために、皆さんもぜひ一緒に、「福祉の世界を変えていきませんか？」

県社協でもインターンシップを 実施しました！

県域で地域福祉を推進する県社協にとっても、広報力の強化と人材確保は大きな課題です。今回、学生の皆さんに「ふくし」や「社協」を伝える新たな機会として、県が運営する「Uーわかやま就職ガイド」に登録し、2月17日と3月8日の両日、春季1DAYインターンシップを実施しました。「県社協の役割をわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか」という演習等を取り入れ、SNSの活用を含む学生目線のご提案をいただきました。(計12名が参加)



事務所内見学で職員との対話を重視

見えづらい「福祉」のリアリティ・魅力(やりがい)をどう伝えるか、「待つ」採用から「出逢いに行く」採用へ。県社協では、県社会福祉法人経営者協議会、各施設種別協議会、市町村社会福祉協議会等と連携を図りながら、今後も福祉人材確保について考えていきます。

お問い合わせ先 総務企画部 企画班 TEL073-4355-5224

社協では、低所得世帯等に対して、必要な資金の貸付けと相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を実施しています。

その最前線で活躍する日高川町社会福祉協議会の上垣内専門員から借入相談をきっかけにした相談支援の取組事例を伺いました。

つながり



相手の立場に
寄り添って考える

ご本人との出会い
50代の男性で、元々は県外在住でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により勤務先が倒産。知人を頼って日高川町に移住。お住まいの付近には家も少ない山奥にお一人で暮らしています。

「ありがとう」の手紙が届く
所持金がほとんどない状態でしたので、資金の貸付けにより当面の生活費を確保しました。体調の不安もあり、安定した仕事に就くことが出来ず。そのため、電話や訪問活動を実施しながら、食料に困っておられる際はフードバンクを紹介することもありました。当初はあまりご自身のことをお話しただけなかつたのですが、関わり続けることで、現状の報告だけでなく、趣味など他愛のないお話もしていただけるようになりました。また、ご本人が地域の方からもらった農作物を社協にもお裾

日高川町社協 福祉活動専門員
かみがいと ひろき
上垣内 大貴 さん

日高川町の情報

- 社協の相談体制
3名(兼務を含む)
- 社協のイチオシ事業
子ども福祉川柳
ひだまりカフェ
- 人口(令和5年2月末現在)
9,297人
- 特産品
紀州備長炭
ごんちゃん漬け



日高川町

ご本人からの手紙(一部抜粋)
日高川町社協の職員の皆様へ
新しい職場にも受け入れてもらい、日々やりがいを感ず生活しています。頂いた食料にも大変助けられました。ありがとうございます。
心から感謝を伝えたいと思います。

これからも関わり合っていきたい
まだコロナ禍より前の生活に戻ったわけではありません。せかしすぎず、ご本人の状態も考えながら関わり合っていければと考えています。時間はかかってもご本人が自立した生活が送れるようお手伝いさせていただきたいです。



石垣中学校茶畑真子先生コメント

募金のことだけでなく、和歌山県のこと、住んでる地域のこと、色々な仕事があること・・・様々な気づきを得ることができたと思います。また学校関係者以外の方と実際にお会いする機会が持てたことは子ども達にとってもとてもいい経験になったと思います。
詳細は、ホームページをぜひご覧ください!!



自分たちができることを考えよう

令和5年1月有田川町立石垣中学校3年生の総合学習で赤い羽根共同募金について学習をして下さり、本会及び有田川町共同募金委員会も授業に参加させて頂きました。
今回の授業は、「共同募金に協力して下さい」という内容ではありません。「赤い羽根」を通して「自分の周りのことに関心をもとう」として「自分にできることを考えよう」という目的で3回にわたり学習を進めてくださいました。

- 第1回目 「赤い羽根共同募金とは何か」
- 第2回目 「赤い羽根共同募金の使いみちを知る」
- 第3回目 「自分たちができる募金を考えよう」

お問い合わせ先
社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL073-435-5231

赤い羽根 わかやま

メール info@akaihane-wakayama.or.jp
HP https://www.akaihane-wakayama.or.jp/

学生の力と気持ちを地域に結ぼう



和歌山大学災害ボランティアステーション

むすぼら

地域の課題に気づき、その解決に向けた学生の活動を支援する和歌山大学「紀伊半島価値共創基幹Kii-Plus」の取組の一つとして、2021年3月に常設の災害ボランティアステーション「むすぼら」が誕生しました。日頃から災害を「自分ごと」ととらえる、現場で学ぶ・被災者にかかわる、地元のピンチに立ち上がることを理念として活動しています。



活動拠点

東3号館(教育学部棟)1F南-103号室
学生オープンスペースKii-Labo
メール:musubora@ml.wakayama-u.ac.jp

学生がやりたいことを実現する 体験の機会を創出

むすぼらでは、学生のアイデアや行動力でイベントや企画を形にしていけます。これまで、災害時に役立つアクティビティとして、防災食体験会、ポリ袋クッキング、新聞紙お椀づくり、焚き火体験、防災カードゲーム体験、防災カルタづくりに取り組み、2021年和歌山市北部エリア断水における「給水活動」や2021・2022年福島県沖地震における「アシスト瓦の作成」の支援にも参加しています。

学生の気づきの可視化と共有 春の遠足から

3月に「春の遠足(神戸)」を実施。神戸港震災メモリアルパークや人と防災未来

センターの見学と映画「ただいま、つなかん(東日本大震災/ドキュメンタリー)」を鑑賞。被災・復興地の記録や教訓に触れ、多くの気づきをえました。学生たちの感想を一部ご紹介します。

柏幸輔さん(生協学生委員会副委員長)

多くの家屋倒壊を目の当たりにして、実家を想った。被災を身近に感じ、これまで見えなかった不安が見える不安に変化した。自分事として行動できるようにしたい。被災してどうにもならないよと諦める人を無くしたい。

湯川愛理さん(クリエイティブ映像制作プロジェクト!Filmage代表)

映像を通して、支援活動の本質は日常生活に溶け込むことだと学び、お互いに助け合い、共に生きるという営みを大切に想った。想定外を乗り越える臨機対応力を身につけたい。みんなで話し合う機会を増やしたい。

松本麟太郎さん(大学祭実行委員会事務局長)

災害にはネガティブなイメージがあるけれど、行動によってかけがえのない絆に気づくこともあると伝えていきたい。命とくらしを守るために学び、大切なインドやスタンスを身につけることで誰かの力になりたい。

現在、「トルコ・シリア地震」被災者支援のため、募金活動を行っています。募金は駐日トルコ共和国大使館へ送ります。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

今月の情報発信コーナー

福祉わかやまリニューアル

福祉わかやまは、4月号から新企画を盛り込みデザインも一新し、リニューアルしました。新企画は8ページの「フクシメシ・フクシモノ」。福祉にまつわる食べ物や逸品を様々なエピソードとともにご紹介いたします。また、内容を充実させ、何度も読み返したくなる誌面づくりに努めます。

新しくなった福祉わかやまに乞うご期待！

【お問合せ先】総務企画部 総務経営班 TEL 073-4355-2222



福祉の仕事チャレンジ(職場体験)

福祉のお仕事に関心のある方は、ぜひ県社協の「職場体験」事業をご利用ください！

職場の雰囲気や利用者の様子、業務内容などを就労前に知ることができ、福祉職の魅力にも触れることができます。

- 受付期間…令和5年4月3日～令和6年3月15日
- 体験期間…令和5年4月17日～令和6年3月29日
- 体験日数…1日～10日(複数の事業所で体験可能)
- 申込期限…体験希望日の2週間前まで

※高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉など各分野の事業所で体験可能です。また、介護職だけでなく、保育士の仕事も体験できます。

※新型コロナウイルス感染症等の状況によっては、中止又は変更になる場合があります。

【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
TEL 073-4355-2111

職場体験の流れ



令和4年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円
	傷害見舞費用		

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



ご寄贈ありがとうございます。

(株)セブン-イレブン-ジャパン 様

(株)セブン-イレブン-ジャパンと県、県社協による「社会福祉貢献活動寄贈品に関する協定」に基づく寄贈商品が、上富田町社協(2月16日)と御坊市社協(2月28日)に届きました。

寄贈された商品は、生活に困難を抱えた個人・世帯等の支援や地域福祉の推進に役立てるため活用させていただきます。

ありがとうございました。



上富田町社協



御坊市社協

甘酸っぱさが絶品!



kanowa和歌山レモンケーキ



社会福祉法人一峰会 就労継続支援B型事業所ぱん工房かたつむりは、「障がいのある方の働きたい想いと働く力を支えたい」、「地元の食材にこだわり、和歌山に貢献したい」との思いでパンやお菓子作りに取り組まれています。

その中の一つであるkanowaの和歌山レモンケーキは、和歌山産レモンを使用したレモンピールの食感がアクセントになる王道レモンケーキです。

午後のひと時のお供に爽やかなレモンケーキを味わってみませんか?



和歌山レモンケーキ専門店kanowa

販売

住所 和歌山市西庄322-12
TEL 073-488-2133
OPEN 11:00~16:00
定休日 無休



製造

社会福祉法人一峰会 ぱん工房かたつむり

住所 海南市重根 1778番地
TEL 073-485-3320

*この記事の写真は、県社協春季1DAY インターンシップ生(2/17開催)が撮影しました。(P4に関連記事)

紀の国いきいき健康長寿祭 卓球(ラージボール)交流大会
兼:全国健康福祉祭(ねんりんピック)選考会を開催します。

開催区分	種目	開催場所	開催日程	申込締切日	参加募集定員
ねんりんピック 愛顔のえひめ2023 出場選手選考会	卓球	和歌山市立 河南総合体育館 (和歌山市)	5月23日(火) ※荒天の場合は 5月24日(水)に延期します	4月27日(木)	定員なし

※上記、スポーツ交流大会の案内については、各市町村、各市町村社会福祉協議会、市町村老人クラブ連合会等に開催要領を送付しています。

お申込み・お問合せ先

県いきいき長寿社会センター(県社協内)
TEL073-435-5214 FAX073-435-5221

